

「さくら」を30日公開

理研など実験・工作イベントも

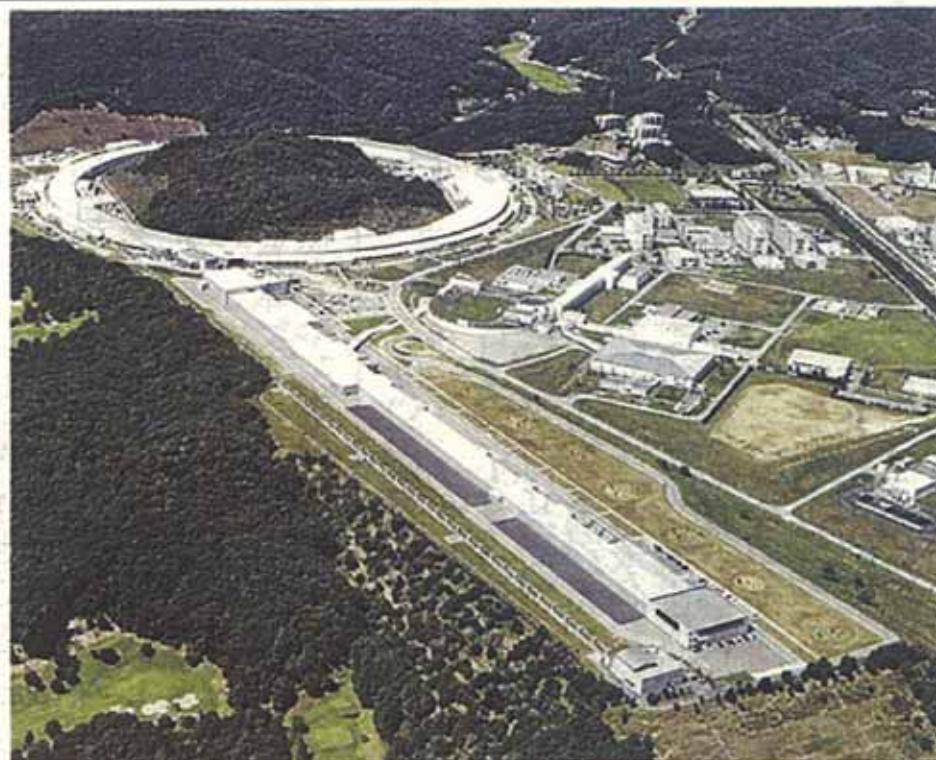
理化学研究所（理研）の播磨研究所と高輝度光科学研究センター（JASRI）は30日、佐用町のエックス線自由電子レーザー施設「SACLA（さくら）」と大型放射光施設「スプリング8」を一般公開する。さくらは3月の本格稼働開始以降では、初めての一般公開となる。

放射光を生み出すビームラインや実際に放射線を測定する様子を見学できるほか、スプリング8を利用した研究成果のパネル展示、「高温高圧の世界をのぞいてみよう」「地球に優しい次世代電池」といった実験・工作イベントも行われる。

また、スプリング8を利している研究者4人による講演会も実施。このうち、理研播磨研究所の石川

哲也所長は「桃栗3年柿8年目」と題し、これまで人類が見たことのない極微の世界を観察できるさくらの可能性について語る。

入場無料。午前9時半（午後4時半（3時半に受け付け終了）。当日は播磨科学公園都市内に設けた共同駐車場とスプリング8の間で無料シャトルバスを運行する。問い合わせはスプリング8施設公開実行委員会事務局（00791・582785）。



一般公開されるエックス線自由電子レーザー施設「さくら」（手前）と大型放射光施設「スプリング8」=理化学研究所提供